

事務事業名	きめ細かな交付金 体育施設補修事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12533									
			所属課室	生涯学習課	課長名	新津 岳									
	☐ 実施計画事業		所属担当	社会体育担当	担当者名	今村繁樹									
基本政策	基本計画体系	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
政策	26	スポーツ・レクリエーションの振興	事業区分	01	一般	1	0	5	0	2	1	1	0	0	1
施策	40	スポーツ・レクリエーション活動の推進		☐ 国の制度による義務的事業	☒ 施設等維持管理事業										
				☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業										
				☐ 市の制度による義務的事業	☐ その他の事業										
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰延 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)		法令根拠												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)											
	八田野球場、若草テニスコート、白根御勤使中学校、白根飯野小学校及び若草小学校の夜間照明設備をタイマー方式に変更するための事業である。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)											
	平成21年度の繰越事業として22年度に事業実施したが、3月11日に発生した東日本大震災等の影響により、タイマー部品の納品が滞ったため、23年度事業に事故繰越し実施したものである。この事業の完成により、市内の屋外夜間照明設備は、ほぼタイマー方式に変更となり、時間消灯制御が可能となり、消し忘れ等による無駄な点灯や深夜の光害が防止できる。			設計監理委託料 399											
				工事請負費 4,799											
				計 5,198											

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	タイマー改修設計業務委託、タイマー変更工事
	23年度活動予定	タイマー変更工事監理業務委託、変更工事
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	夜間照明施設	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	夜間照明施設の消灯を時間制御できるように変える。	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	施設の利用時間である午後10時以降の消し忘れ等による無駄や、深夜における隣接住宅への光害が防止できる。	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	変更する施設数	件
⇒	設置するタイマー制御盤数	個
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	夜間照明施設数	箇所
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	タイマー方式の夜間照明数	箇所
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	10時以降に点灯しているとの通報	件

(2) 事業費・指標の推移

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円		1,261	2,176				
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		649	1,111				
		事業費計 (A)	千円	0	1,910	3,287	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3				
		延べ業務時間	時間	10	30	20				
		人件費計 (B)	千円	45	134	79	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	45	2,044	3,366	0	0	0	0
活動指標		アイウ 件 個		5.0	5.0					
対象指標		アイウ 箇所		25.0	25.0					
成果指標		アイウ 箇所		17.0	22.0					
上位成果指標		アイ 件		10.0	1.0					

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	近年の夜間照明設備はタイマー方式となっているが、設置時期が古い設備は手動による消灯が必要で、消し忘れ等による時間外点灯が起っていた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	時間外の誰もいないグラウンド等で点灯しているのは無駄であり、施設管理者は、市民の通報により、急遽消灯に出向く必要がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	きめ細かな交付金 体育施設補修事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 夜間照明は社会人がスポーツ、レクリエーションを行ううえで、欠くことのできない設備であり。設備の向上により、施設管理面においても有効である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 市の体育施設である。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] この事業は、タイマー変更に係る今回の工事のみである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 消し忘れ等について利用者にも注意喚起を行ってきたが、徹底しきれない面もある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 消し忘れ等により時間外の無駄な点灯や、深夜、近隣への光害が起りえる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] タイマー改修ができない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] タイマー方式に変更するための必要最小限の事業費である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 設計や工事監理は業務委託し、職員は監督業務を行う。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 有料施設であり利用者は、料金を納付する。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		(5) 事務事業優先度評価結果																						
① ② ③		成果優先度評価結果	新規事業																					
		コスト削減優先度評価結果	新規事業																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
① ② ③																								